

1, はじめに

私は、カメラでよく写真を撮る。そして、いろいろな沿線に足を運ぶうち、京浜東北・根岸線に関心を持つようになったので今回、その魅力を紹介する。

2,

①京浜東北・根岸線とは

京浜東北・根岸線は大宮から大船間、47 駅、全長 81.2 kmの路線である。一般には大宮から大船間の各駅に停車する路線が京浜東北線だが正式には東京から大宮間は東北本線、東京から横浜間は東海道本線、横浜から大船間（桜木町、新杉田経由）は根岸線である。京浜東北線の「京浜」は東京の「東」と横浜の「浜」をとっている。大宮から大船に行く列車を南行と呼ばれ、大船から大宮に行く列車を北行と呼ばれている。



京浜東北線の種別は快速、各駅停車である。快速は大宮から田端間は各駅に停車し、その先は上野、秋葉原、神田、東京の順に停車し浜松町から大船間は各駅に停車する。土曜・休日は御徒町にも停車する。

京浜東北線はほとんどの区間ほかの路線と並走している。例えば、大宮から上野間は宇都宮線・高崎線、田端から品川間は山手線、品川から横浜間は東海道本線。さらに、横浜線は東神奈川から大船間、直通運転をしている。



②京浜東北・根岸線で活躍していた車両

現在、京浜東北・根岸線で活躍している車両は E233 系 1000 番台（上図）。撮影、川口～西川口間にて。この車両は他にも東海道本線（右図）。撮影、横浜にて。南武線（下図）。撮影、武蔵溝ノ口にて。などで活躍している。しかし、ここ約 10 年、この車両だけである。かつて、どのような車両が活躍しているか紹介していきたいと思う。

まず、最初に 103 系。1965 年に登場した。1974 年からは冷房車が投入されクハ 103 は ATC 使用列車に変わった。1998 年 3 月に引退した。

1989 年に登場した 205 系。1993 年から 1998 年にかけて



209系投入に伴い、1996年に引退した。

1993年に登場した209系。この車両はドアの開け閉めのチャイム、電光掲示による停車駅案内、車いすのためのスペースなどが初めて設置された車両である。2009年に引退した。

209系には0番台と500番台があった。

3, おわりに

京浜東北線にはかつて、色々な車両が活躍していた。205系は2018年からJR奈良線で活躍している。実際に京都駅に停車していて、見つけたときは非常に驚いた。そして、私は京浜東北線E233系の色合いはとても好きだ。カッコいいし、スカイブルーとシルバーのコントラストが絶妙だ。だから、より長く活躍してほしい。また、それとは別に最新の技術を搭載した新車両の登場も楽しみにしている。

4, 参考文献

東京の電車に乗ろう (書籍)

学研の図鑑「鉄道・船」(書籍)

JTB時刻表 (書籍)

103系-80s 国鉄写真館 (ウェブ)